取扱説明書

消毒液噴霧器

固定噴霧　全景

濡れない霧

この度はお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本書には、EXZIO-ｇをご使用になる上で大切なことが書かれておりますので、ご使用前に必ずお読みの上で、正しくお使いください。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。

ＴＳＫ

特徴

様々な細菌やウイルスによる感染を防止するためには、天井・床・壁はもちろんのこと空間をも清潔に保つことが重要です。本装置、エグジオは弱酸性電解水を微細噴霧することで、対象物に過度な水滴を付着させることなく、衛生状態を保つことが可能です。また、キャスターによる移動、ハンドガン噴霧の採用により自由度の高い噴霧を実現したことで、広範囲かつ幅広い対象物の、除菌・消臭のニーズに応えられるものと確信し開発いたしました。

1）　消毒対象物に過度な水滴が付着しません

平均粒子が約8.5μｍ（ノズルから150cm中央部）の微粒噴霧であるため、過度な水滴が付着しません。

2）噴霧方法を選択できます。

セレクトスイッチで、固定噴霧または手動（ハンドガン）噴霧が選択できます。

※ 固定噴霧では、噴霧装置本体から噴霧ノズルを延長し、2.0mの高さから任意の方向に噴霧可能です。

※ 手動（ハンドガン）噴霧では、噴霧装置本体からハンドガンを自由に伸ばし（約2m）天井・壁・床・容器などに直接噴霧可能です。

3）薬液タンクを内蔵

噴霧装置本体内に 10Lタンクを内蔵しているため、延4時間の噴霧が可能です。

4）スムーズな移動が可能

噴霧装置本体にキャスターを装着しているため、使用場所・収納場所へスムーズに移動可能です。　多少の段差はバックで可能です。

5）耐蝕性を重視

噴霧装置本体・接液部は樹脂製の材料を使用しております。

正しくお使いいただくために

本機を正しくお使いいただくために、必ず以下のことをお守りください。

1．電源は交流１００Ｖ以外では使用しないでください

☆ 電源コードや電源プラグが痛んだり傷ついた場合使用しないでください。
感電やショート、発火の原因になります

☆ アースは必ずお取りください。

☆ たこ足配線などにより定格を超えると、火災の原因になりますので、しないでください。

☆ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないようにしてください。感電の原因になることがあります。

2．本機を転倒させないでください、長期間使用しない場合でも寝かさないでください。
誤って転倒した場合は、販売店あるいは製造元に連絡してください。

3．使用液は下記以外のものは使用しないでください。

- 弱酸性混合水　100ppm 以下
- 弱酸性電解水　100ppm 以下
- 微酸性電解水　50ppm 以下
- 一般水道水

塩素系の消毒液のため、ノズルにスケール等が付着しますので、こまめに掃除してください。

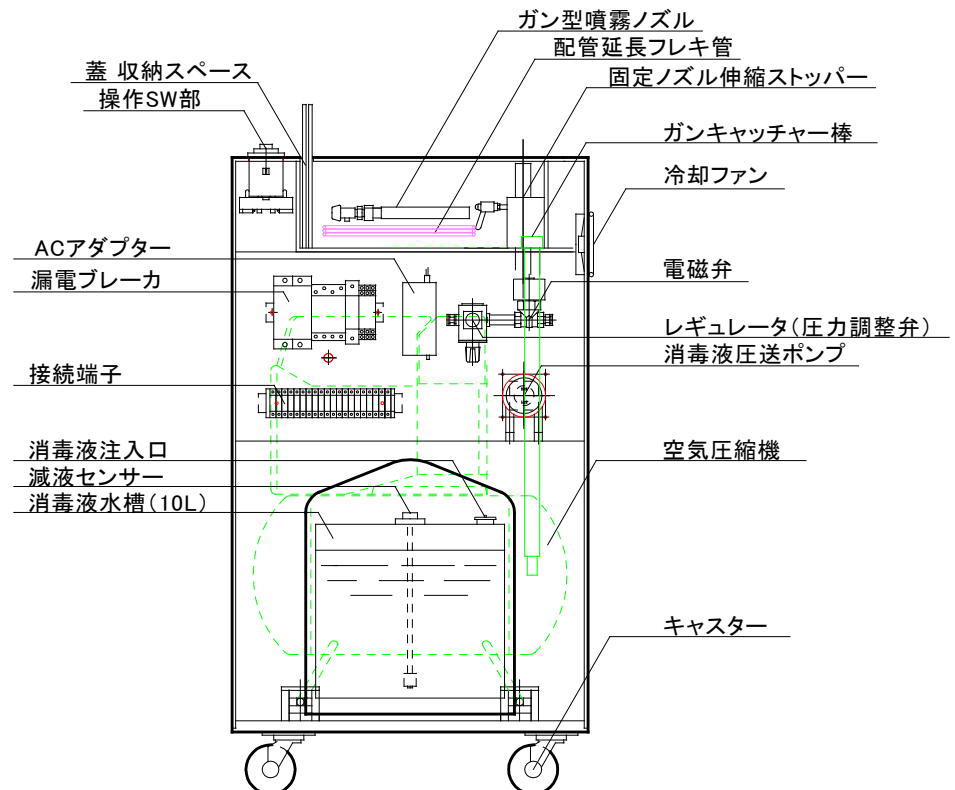
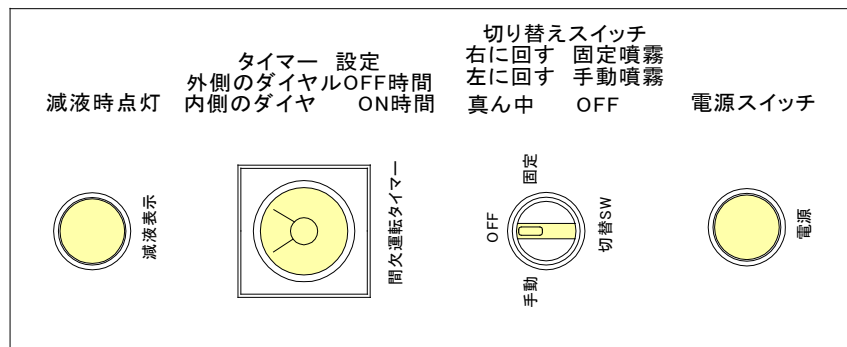
4．本機を改造したり、噴霧以外に使用しないでください。

5．本機を継続的にお使いいただくためにメンテナンス契約をお勧めします。

各部の名称

運転方法

操作部詳細

減液時点灯
タイマー　設定
外側のダイヤル OFF時間
内側のダイヤ ON時間
切り替えスイッチ
右に回す　固定噴霧
左に回す　手動噴霧
真ん中　OFF
電源スイッチ
減液表示
間欠運転タイマー
固定
OFF
切替SW
手動
電源

〔1〕 固定噴霧ノズル間欠運転

① 本体の蓋を開けガンキャッチャー棒を伸縮棒に取付 ガンを取付ける。
（ガン取付要領参照）

② 固定ノズル伸縮ストッパーを緩め所定の高さで止める。

③ 電源スイッチを ON にする。

コンプレッサー起動後圧力が上がり、停止する（約100秒）までお待ちください。

コンプレッサーは所定の圧力（0.8Mpa）で自動的に停止します。

④ 冷却ファンは電源を ON にすると同時にコンプレッサーと連動して起動します。

⑤ 切替スイッチを固定 側にする。

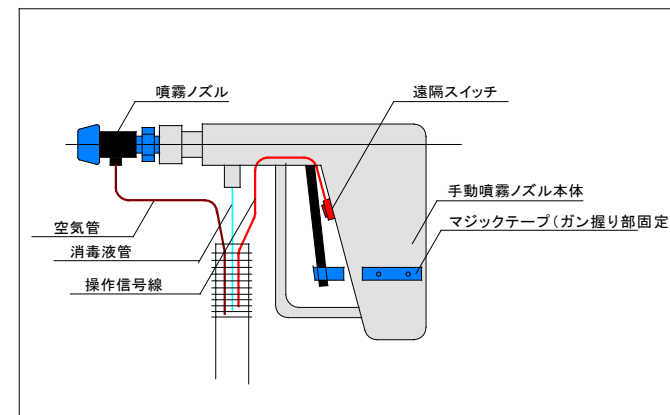
⑥ 間欠運転タイマーのツマミで ONタイム時間　OFFタイム時間を設定する。

⑦ 数秒後に自動的に運転開始します。

〔2〕 固定噴霧ノズル間欠運転停止

① 切替スイッチを OFF にする。

② 電源スイッチを OFF にする

噴霧ノズル詳細

〔3〕手動（ハンドガン）噴霧運転

① 電源スイッチを ON にする。

コンプレッサー起動後圧力が上がり、停止する（約100秒）までお待ちください。

コンプレッサーは所定の圧力（0.8Mpa）で自動的に停止します。

② 冷却ファンは電源を ON にすると同時にコンプレッサーと連動して起動します。

③ 切替スイッチを手動 側にする。

④ 本体フタを開け手動（ハンドガン）噴霧ノズルを取り出し　被消毒物に向け

レバーを握る、レバーを離すと噴霧は止まる

〔2〕手動噴霧ノズル停止

① 切替スイッチを OFF にする

② 電源スイッチを OFF にする

注意　運転（噴霧）終了直後に、切替SWをOFF又は固定にし、ハンドガンのレバーを握ると液が出る場合があります。液チューブ内の残圧によるもので数分後に自然に残圧は抜けます。

仕様

【 外観・寸法・重量 】

（1） 外観 ：PVC 樹脂ボディー仕様（外観色：アイボリー）

（2） 寸法 ：幅（W）450㎜×奥行き（D）513㎜×高さ（H）792㎜
（ハンドル含む外観）
：幅（W）450㎜×奥行き（D）558㎜×高さ（H）870㎜
（固定ノズル延長時）
：幅（W）450㎜×奥行き（D）558㎜×高さ（H）2000㎜
：ハンドガンホース2，000㎜

（3） 重量 ：50.8kg（乾燥時）

4-2 電気的性能
（1） 定格電圧 ：AC100V
（2） 定格電流 ：4.3A
（3） 定格周波数 ：50/60Hz
（4） 使用電力 ：450W

4-3 環境的性能
（1）使用流体温度 ：5～35℃（凍結なきこと）
（2）使用周囲温度 ：0～50℃
（3） 周囲湿度 ：20～75%RH（凍結なきこと）

4-4 機械的性能
（1） 使用薬液 ：弱酸性混合水及び弱酸性電解水
（2） 使用空気圧 ：0.3MPa
（3） 使用空気量 ：35L/min
（4） 平均粒子径 ：約8.5μm
（5） 噴霧薬液量 ：2.5L/h
（6）噴霧到達距離 ：2.7m
（7）連続噴霧時間 ：4h
（8） タンク容量 ：10L
（9） 薬液注入口 ：筐体点検扉内
（10） キャスター ：SUS製 65Φ 自在2個 自在ストッパー付2個
（11） 運転時騒音 ：56db/50Hz・58db/60Hz
（12） 冷却ファン ：80㎝・0.6L/min
（13） 電源コード ：8m

アフター

【定期交換部品リスト】

No	部品名	交換サイクル（目安）
①	チューブポンプ用チューブ PHARMED BPT 2.4	3年又は極端に水量が変化したとき
②	噴霧ノズルチップ TEFRON SU2.5N	3年又は極端に噴霧径が変化したとき
③	スーパーオイルフリーベビコン 0.2LE-8S	8000時間
④	Oリング・パッキン類	3年又は圧縮空気、消毒液が漏洩したとき

【定期点検項目】

No	部品名	交換サイクル（目安）
①	ベビコン空気タンク 水抜き	6ヶ月に1回
②	噴霧ノズルチップ 清掃	3ヶ月に1回 又は噴霧量が減少したとき
③	薬液タンク 清掃	6ヶ月に1回

【納入時 梱包荷姿】

工場出荷時 エアークッション（ライトプチ）
搬送時 クロネコ引越し便 段ボール又は布製キルティング養生

【故障かなと思ったら】

Q. 手動運転時ガンを握っても空気が出ない
A－1 電源が入ってない 操作部電源ランプが点灯しているのを確認ください
－2 切替SWが手動になっているか確認してください
－3 電磁弁が作動していない 連絡してください

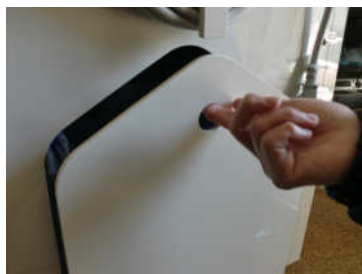
Q. 手動運転時ガンを握っても液が出ない
A－1 電源が入ってない 操作部電源ランプが点灯しているのを確認ください
－2 切替SWが手動になっているか確認してください
－3 チューブポンプが作動していない 連絡してください

Q. 固定運転時空気が出ない
A－1 電源が入っているか確認してください
－2 切替SWが固定になっているか確認してください
－3 タイマーのランプがON表示で点灯して出ないのか確認してください
ONとOFFが繰り返し作動します

Q. 固定運転時液が出ない
A－1 電源が入っているか確認してください
－2 切替SWが固定になっているか確認してください
－3 タイマーのランプがON表示で点灯して出ないのか確認してください
ONとOFFが繰り返し作動します
－4 ノズルが詰まっている場合付属品で掃除してください
－5 ガンの握り部がマジックテープで締めてあるか確認してください

【消毒液の入れ方】

① 点検扉最下部のストッパーをはずす
手前のプッシュボタンを押す

② 点検扉を手前に引き出す

③ 注入口の蓋を左に回し外す

④ 消毒液を注ぐ
目視にて適量まで入れる

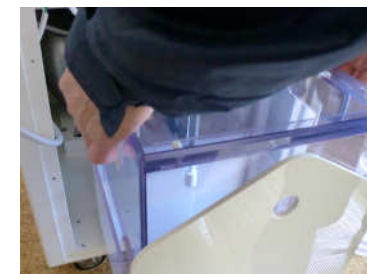
⑤ 注入後、注入口を締め元に戻す
ストッパーの上部黒いつまみを押しロックする

【消毒液水槽のはずし方】

① 消毒液の入れ方の要領で
点検扉を引出す

② 減液センサーを取出す
マイナスドライバーでビスをはずす

③ 減液センサーを引出す

④ 水槽の両脇を持って取出す

⑤ 終わったら逆手順で最後に
ストッパーの上部黒いつまみを押しロックする

【圧縮機の凝縮水の抜き方】

① 裏側の点検パネルをはずす

② 圧縮機についてるホース（ピンク色）を取出す

③ コックを少しずつ左に回します
空気と凝縮水が出てきます

④ 黒い液がでますが異常ではありません
シューと音がしますが、空気が通る時の音です

注意

⑥ 作業が終わったらホースを元（写真）の様に戻してください

【ハンドガンの取り付け要領】

① ガンキャッチャー棒を引出す
まっすぐ上に引出す

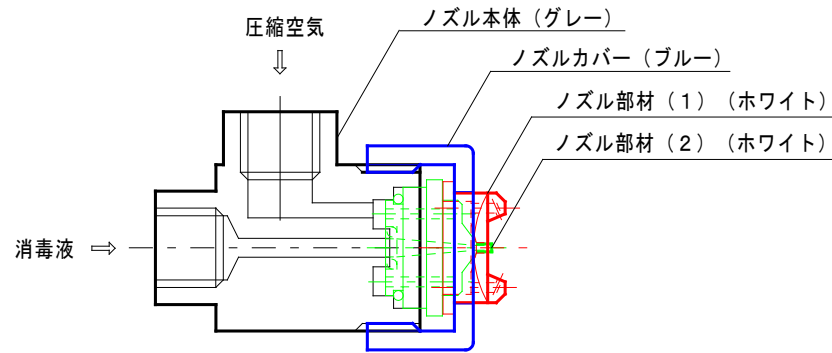
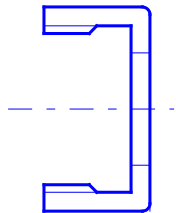
② 伸縮棒にガンキャッチャー棒を取付ける
右回しで軽く締める、伸縮棒は固定する

③ ガン握り部を軽く握ります
噴霧弁が開きます　液は出ません

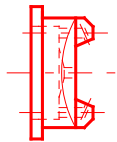
④ マジックテープで固定してください

⑤ ガンを後部から差し込みます
ガンキャッチャーはしっかり支えてください

⑥ 後部を抑えながら前のほうを差込みます

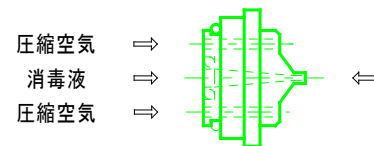
ノズルの掃除

ノズルカバー

左に90度回すと外れます。

ノズル本体を手で押さえてください

ノズル部材（１）

取りだして水洗いしてください

ノズル部材（２）

圧縮空気 ⇨
消毒液 ⇨
圧縮空気 ⇨

⇦

⚠ 注意

ここから針金（付属品）を出し入れしスケールを取り除いてください。

水洗いしてください

お問い合わせは、販売店またはＴＳＫまでご連絡ください。

製造元　　合同会社　ＴＳＫ
〒 354-0041　埼玉県入間郡三芳町藤久保526-1
E-mail:st-takahashi@ab.auone-net.jp
緊急連絡先　080-5063-5069

20150312